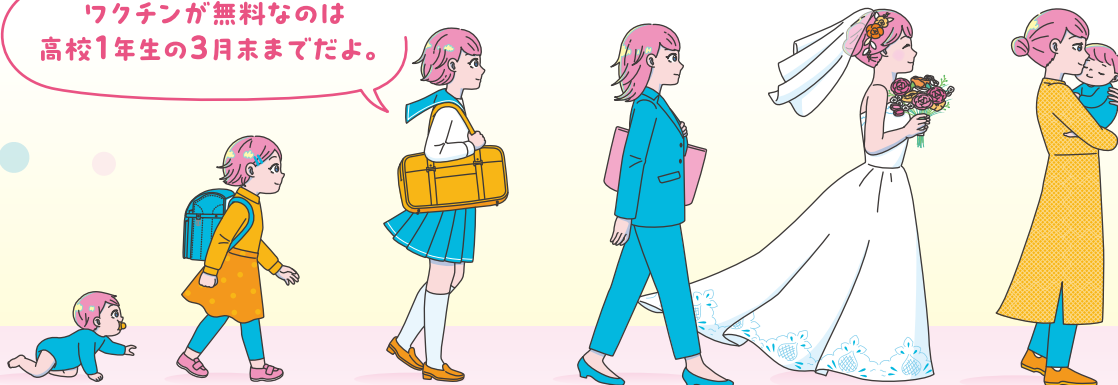


ウイルス感染による子宮頸がんは
HPVワクチンで予防できます
小学校6年生～高校1年生相当の女性が
定期接種の対象です。

子宮頸がん^{けい}って、大人の病気だと思ってる

実は、若い世代も注意が必要なんだ。

ワクチンが無料なのは
高校1年生の3月末までだよ。



どんな未来でも
自分らしく健康に

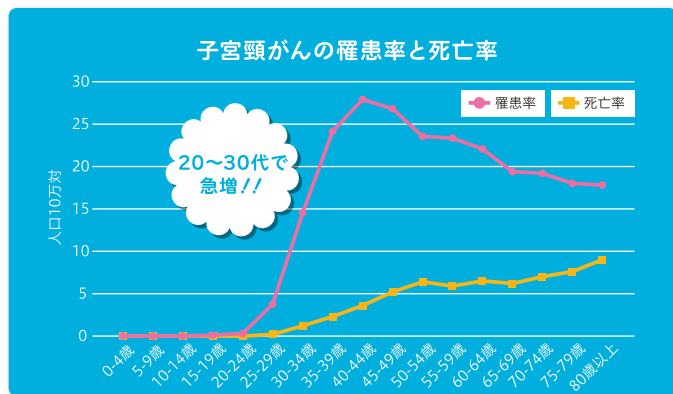
＼ 感染を防ぐ /
HPVワクチン接種
(定期接種：小6～高1相当)

＼ 早く見つける /
子宮頸がん検診
(20歳を超えたら2年に一度は受診)

●子宮頸がんに関するデータを見てみよう!



出典：厚生労働省HPVワクチンに関するリーフレット



出典：国立研究開発法人国立がん研究センター「がん種別統計情報 子宮頸部」/罹患率2023年、死亡率2023年

●いまのうちに知っておこう! 子宮頸がんの原因と予防策

Q 何が原因でがんになるの?

A 子宮頸がんの主な原因はHPV(ウイルス)感染です。感染してもほとんどの人はウイルスが自然に治癒しますが、感染が自然に治癒しなかった一部の方が、子宮頸部異形成とよばれる前がん病変を経て、数年後に子宮頸がんへ進行すると考えられています。

Q がんになるのって中高年で降じゃないの?

A 子宮頸がんは近年、20代～40代の女性で増加傾向にあります。性的接触のある女性であれば、50%以上の方が、生涯に一度はHPVに感染する可能性があります。

Q 気になる症状がないのにどうして受診が必要なの?

A がんはほとんどの場合、初期のうちは自覚症状がありません。そのため2年に1度の定期的な子宮頸がん検診が必要です。「若いから大丈夫」と思っているうちに発見が遅れ、がんが進行してしまうかもしれません。

HPVワクチンの定期接種の期間は **高校1年生の3月31日まで** です。
ワクチン接種は完了するまでに **約6か月** かかります。また、15歳になると接種は合計3回必要になりますので、接種を希望する方は、計画的なスケジュールでご検討ください。

